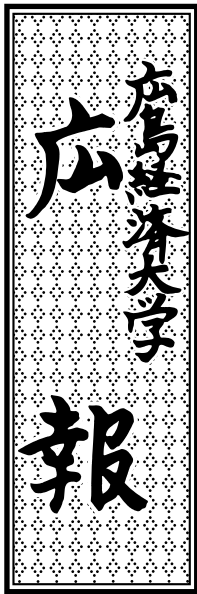




世界は今、転換期を迎えている。各地で起こりうる対立を避けるため、各国はパートナーシップ構築を模索している。混沌の時代をどう生きていくか。カナダのインド太平洋戦略に詳しく、日本通として知られるイブ・ティベルエン教授を迎え、世界平和における日本の役割、変容する教育の在り方、広島で学ぶ学生へのメッセージを聞いた。



発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号(082)871-1000(代)
オフィシャルサイト <https://www.hue.ac.jp/>

- | | |
|----|---------------------|
| 2面 | 世界とつながる「絆」、国際交流の和と輪 |
| 3面 | 和と輪 |
| 4面 | 私の就職活動体験記 |
| 5面 | 学生たちによる広島経済大学二大祭典 |
| 6面 | 2024年度学生募集要項 |

Yves Tiberghien

スタンフォード大学博士号取得。UBCの政治学教授、アジア研究所名誉所長、日本研究センター所長。主な研究テーマは東アジアの比較政治経済学とグローバル経済・環境ガバナンスで、アジア各国の大学で教える。2017年にはフランス政府より国家功労勲章シュヴァリエを受章、2022年にはカナダのインド太平洋戦略に関する外務大臣諮問委員会委員を務めるなど、その活躍は多岐にわたる。好きな日本食は、銀ダラの西京焼き。

ハラダ オバマ元大統領が来た後、多くのアメリカ人

学長 広島は何年ぶりですか。
教授 31年ぶりだ。当時、原爆資料館を見たくて来た。久しぶりの広島だが、本当に美しい街だ。この大

学長 広島は何年ぶりですか。

教授 多くの点において、非常に重要なサミットだった。核兵器の不拡散に関する声明も盛り込まれた。首脳らが揃って慰霊碑や資料館を訪ねたのも初めてのことで、国際関係が難しい。今、このことは意義深い。とりわけ、広島を訪ねた国々のうち、4カ国が核保有国であったことは象徴的だった。広島に来れば、戦争がどれほど恐ろしいものか、理解できる。

学長 核兵器を保有する国のリーダーの広島訪問には困難もあると聞きますが、訪問それ自体に大きなメッセージがあったと思います。

G7広島サミットの成果は
学長 昨年のG7広島サミットの印象はいかがでしたか。
教授 多くの点において、非常に重要なサミットだった。核兵器の不拡散に関する声明も盛り込まれた。首脳らが揃って慰霊碑や資料館を訪ねたのも初めてのことで、国際関係が難しい。今、このことは意義深い。とりわけ、広島を訪ねた国々のうち、4カ国が核保有国であったことは象徴的だった。広島に来れば、戦争がどれほど恐ろしいものか、理解できる。

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが



イブ・ティベルエン教授

学長 カナダと日本は戦略的パートナーですが、両国の関係をどうご覧になりますか。
教授 ここ何年かで最も良い状態だ。世界の問題に対する共通理解が増え、貿易、軍事、外交など多くの領域で新たな取り組みが一緒に行われている。カナダは、インド太平洋戦略において、日本から学んでいる。日本は自由で開かれたインド太平洋戦略のバイオニアだ。この戦略を通じて、両国関係は非常に緊密になった。

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 日本は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

We are here to do something great for the world.



イブ・ティベルエン教授

学長 世界が非常に不安定な今、特に若い世代において、対話の機会の重要性は高まっています。先日バンクーバーを訪れた際、日本コミュニティもあり、学生にとつて学びやすい環境だと感じました。また、カナダの学生にも広島を訪れてほしいと思うのですが、そうした若い世代の交流をどう思われますか。

教授 私は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 世界が非常に不安定な今、特に若い世代において、対話の機会の重要性は高まっています。先日バンクーバーを訪れた際、日本コミュニティもあり、学生にとつて学びやすい環境だと感じました。また、カナダの学生にも広島を訪れてほしいと思うのですが、そうした若い世代の交流をどう思われますか。

教授 私は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 世界が非常に不安定な今、特に若い世代において、対話の機会の重要性は高まっています。先日バンクーバーを訪れた際、日本コミュニティもあり、学生にとつて学びやすい環境だと感じました。また、カナダの学生にも広島を訪れてほしいと思うのですが、そうした若い世代の交流をどう思われますか。

教授 私は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

学長 世界が非常に不安定な今、特に若い世代において、対話の機会の重要性は高まっています。先日バンクーバーを訪れた際、日本コミュニティもあり、学生にとつて学びやすい環境だと感じました。また、カナダの学生にも広島を訪れてほしいと思うのですが、そうした若い世代の交流をどう思われますか。

教授 私は、この地域で重要な役割を担っている。以前はルール・フォロワーだったのが、2015年以降、CPTPPなど各種の経済連携を通じて多くの国々とパートナーシップを築き、今ではリーダー、ルール・メーカーとなった。日本の戦略は、法の支配とルールを主張し、安全保障上の抑止力を構築することだ。戦争を回避し、私たちが大切にしているルールや価値観を維持するためには、抑止力と対話による安心感のバランスが

教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるのもいい。
ハラダ 私たちも語学だけ

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところだ。
教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるのもいい。
ハラダ 私たちも語学だけ

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところだ。
教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるのもいい。
ハラダ 私たちも語学だけ

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところだ。
教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるのもいい。
ハラダ 私たちも語学だけ

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところだ。
教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるのもいい。
ハラダ 私たちも語学だけ

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところだ。
教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるのもいい。
ハラダ 私たちも語学だけ

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところだ。
教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるのもいい。
ハラダ 私たちも語学だけ

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところだ。
教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるのもいい。
ハラダ 私たちも語学だけ

ハラダ 私たちも、カナダの大学との交換留学を推進したいと考えているところだ。
教授 プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)は西海岸にあり、日本からも来やすい。平和に関する短期コースやプロジェクト、共同プロジェクトで学生交流を始めるのもいい。
ハラダ 私たちも語学だけ



国際教育交流センター長 ジョージR.ハラダ

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。



学長／在広島カナダ名誉領事 石田優子

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

学長 私のも勇気がわいてきました。ありがとうございます。

世界とつながる「絆」、国際交流の和と輪

第10回「国際スポーツサロン」開催



エッサー・ガブリエル氏

C)、国際陸上競技連盟(現ワールドアスレティックス)などの要職を歴任し、オリンピック、FIFAワールドカップ、世界陸上競技選手権大会など、数々の国際スポーツイベントで中心的役割を果たし、パリ五輪2024ではシニアアドバイザーを務める。また、2012年に開催した第1回サロンの講師でもあり、その際広島経済大学名誉博士の称号を贈呈した。

講演では、来年のパリ五輪の全貌、さらには世界のスポーツ界に大きな衝撃を与えているサウジアラビアなどのアラブ諸国のスポーツへの新たな取り組みにつ

海外からの訪問続々 興動館プロジェクトによ

「君の活躍を、世界の舞台で待っている」

いだことにある。10月11日には、ハワイ州ハワイ島からトーマス・ゴヤ元ハワイ島日系人商工会議所会頭らが大学を訪問した。広島とハワイの移民の歴史を学び、双方の若者の積極的な交流を目的に活動する「広島ハロワ文化交流プロジェクト」の現地活動への支援に対し、石田学長が感謝を伝えると、ゴヤ氏は、長年の活動に感謝し今後も変わらぬ友情を約束する、と返した。その後、一行はヒロ高等学校の生徒16名と一緒に、学生が企画したスタディツアーに参加。学生は生徒と交流しながら平和記念公園や宮島などを散策し、「広島」の歴史や文化を伝えた。

10月25日には、カンボジア観光省副大臣の「THOK SOLOM」氏が訪問、「カンボジア国際交流プロジェクト」の学生が歓迎した。

史や文化を伝えた。10月25日には、カンボジア観光省副大臣の「THOK SOLOM」氏が訪問、「カンボジア国際交流プロジェクト」の学生が歓迎した。

9月28日、第28回前期学位記授与式が、本学大会議室において厳粛に執り行われた。晴れて卒業の日を迎えたのは、経済学部12名、経営学部9名、メディアビジネス学部3名の24名の学生。ご家族や学園関係者、教職員が見守るなか、石田優子学長から学生一人ひとりに学位記が手渡された。卒業生たちは新たな門出の祝福を受け、式は緊張のなかにも和やかな雰囲気の中、終了した。



学位記を受け取る卒業生

2023年度 前期学位記授与式挙行政

2023年度 保護者会秋季役員会開催

11月17日、広島ガーデンパレスにおいて、2023年度保護者会秋季役員会が、43名の出席のもと開催された。この役員会は、保護者会規約により、保護者会総会の代行となるものである。役員会では、名誉会長の石田恒夫理事長の挨拶の後、教育・学習支援センター、キャリアセンター、興動館、学務センターの各担当者から学習支援体制や学生の諸活動等について学事報告が行われた。役員会終了後の懇親会では、活発な意見交換がなされ盛会のうちに終了した。



挨拶をする石田恒夫理事長

11月15日、広島国際会議場において、第10回「国際スポーツサロン」を開催した。これは、国際的に活躍するスポーツ関係者を広島に招聘し、スポーツを通して広島国際化と街づくりを推進しようという本学のユニークな取り組みだ。世界のスポーツ界で活躍する著名人から直接話を聞くことができるとあって、スポーツビジネスに携わる方々や学生など多くの人が会場に足を運んだ。記念すべき10回目は、フランスより、EGABRIEL DMOC代表のエッサー・ガブリエル氏



学生とのランチミーティング

講演会翌日の16日、ガブリエル氏が本学を訪問し、学生たちと交流した。まず、スポーツ経営学科の授業「Major Sports in

学生とも交流

いて語られた。特にオリンピックについて、世界中の多くの国や地域、人が関わる世界最大のイベントとしての重要性を強調したうえで、今回のパリ五輪について「オリンピックは転換期を迎えている。パリではさまざまな新しい取り組みに挑戦しつつ、環境に配慮したサステイナブルな大会を目指すなど時代に沿った変遷を遂げようとしている。全く新しいオリンピックだ」と語り、来場者は熱心に耳を傾けた。

海外での活動も、国際的な感覚を養う良い機会だ。長年にわたって学生が継続的に訪問し、現地の方々と交流してきたことが友情の絆を強めた。アフターの今、「これまでの活動への感謝と、これからの友情の確固たるため」として海外からの訪問が相次



元ハワイ島日系人商工会議所会頭らの訪問を受けて

データサイエンスを学ぶ意義について
データサイエンスとは「大量のデータから、何らかの意味ある情報、法則関連性などを導き出すこと」です。ICTの進展、スマートフォンの普及、データ収集方法の多様化、全ての人が利用可能なオープン



(認定期限:2028年3月31日まで)

広経大データサイエンス教育

2023年8月25日付で文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」の認定を受けた。本学の「データサイエンス教育プログラム」についてデータサイエンス教育プログラム推進ワーキンググループ座長の丹羽啓一教授に話を聞いた。

データの推進によって、私たちは膨大なデータを容易に入手できるようになりましたが、収集したデータを分析し、有益な知見を獲得するための素養を備えた人材の育成が大学教育に求められています。

そこで本学では、データ分析の結果を読み取り、理解し、それを利用する力、すなわちデータリテラシーを磨くほか、急速に発展しているAI(人工知能)についての知識を身につけることを目的に「データサイエンス教育プログラム」を展開しています。

プログラムの特長について教えてください

本プログラムでは、全学部生が受講できる共通科目「基礎教養科目群」に「AIリテラシー入門」を設置し、AIを活用して新たな価値を生み出せる人材に必要な3つの力、「知識」「情報リテラシー」「論理的思考力・分析力」を身につけます。また、ラーニングマネジメントシステムを利用した質問の受付やオフィスアワーでの研究室訪問による相談、情報担当スタッフやアントアシスタントによる学習支援など、サポート体制も整備。この分野のことをより深く学びたいと考える学生に対しては、各学部設置しているデータサイエ

データサイエンスを扱う専門教育科目の履修につながるよう誘導しています。

具体的な学修の様子を教えてください

データサイエンスに対する好奇心を引き出せるよう、数式の多用や技術の解説に終始することなく、視覚資料で感覚的に理解できるようにしたり、ソフトを用いることで理解を深められるようにしたりしています。データサイエンスやAIが製品やサービスにどのように取り込まれているのか、その技術によって変化する社会の状況を知ること、難しい内容にもしっかりと学ぶ意欲を見せ

今後の展開・学生に期待すること

自然科学の分野であるデータサイエンスを活用する領域は今後拡大していくと見られます。次代を担う人材として社会科学系総合大学である本学での専門知識に加え、データサイエンスやAIへの理解をさらに深めることを期待しています。また、新学習指導要領で学んだ新入生が入学する2025年度に向け、リテラシーレベルの科目内容をブラッシュアップしながら完成度を高め、2026年度入学生からの履修必修化を目指しています。

和と輪

本学は人々が協力し合い、和やかな関係を築くことを大切にしてきた。ここでは、人との「和」を大切に、そのつながりの「輪」を広げているさまざまな取り組みを紹介する。

特産品を活かした「クラフトビール」開発に挑む



道の駅「来夢とこうち」で行われた試飲会及び新作発表会。ビール離れが進む若者でも飲みやすく、ビールのおいしさに気づいてもらえるような商品開発を目指した。

学生たちは安芸乃国酒造（株）の協力を得て、原材料の収穫や製造実習を体験。自ら収穫を体験することで、生産者や製造者と関わり、より深く特産品について知る機会を得た。完成したクラフトビールは、9月30日、10月1日に安芸太田町の道の駅「来夢とこうち」で開催されたグルメフェアで試飲会及び新作発表会が行われ、地域の方々に披露された。

ゼミ生の加悦ひなのさん（経営学科3年・広島県／比治山女子高校出身）は「特長を活かすために色味と味を工夫しました。試飲会では透明なコップに入れるため、色でも楽しめるように『マタタビ』は黄色、『緑茶』は緑色にする予定でしたが、緑茶の方は思うように色がでませんでした。味は飲みやすさだけでなく、ビール独特の苦みにも気をつけて考えていきました。その結果、『マタタビ』では、女性でも飲みやすいような甘さの部分もあり、スッパリとした味わいに。『緑茶』は口にしたときはビールの味が濃いですが、後味がまさに緑茶で、若者以外でも飲みやすい味わいになりました。そして、ラベル作りにも挑戦。花言葉を入れることを提案し、それぞれに込めた思いと花言葉を重ねて表現しました。特産品の良さを引き出すためにはどうしたら良いか考え、主体的に行動し積極的に意見を出していきました。試飲会で飲みやすいと地元の方に言っていただき、喜んでもらったことがとても印象に残っています」と笑顔を見せた。



藤原久嗣教授は「原材料の調達から製造工程全てに携わり、それぞれに関わる人たちの思いを感知し製品化することで、ものづくりの原点を知り、今後の地域貢献のあり方を考えてほしいと思います」と学生たちの今後の活動に期待を寄せた。



安芸乃国酒造（株）の方々の協力を得てマタタビを収穫

学生のグラフィックデザイン作品が企業PRに採用

興動館科目「私たちの広島」PR実践では、まだ知られていない広島魅力をPRするための企画を立案し、フィールドワークを通して、感性を磨き、企画力と発想力を身につけることを目的として、パンフレットやチラシの制作を行っている。

今回、高須賀直桜さん（メディアビジネス学科3年・愛媛県／松山南高校出身）が制作したグラフィックデザイン作品が、機械設計などに取り組む大興グループのPR用デザインとして採用された。昨年の春から会社説明会で学生に配付されるクリアファイルなどに利用されている。

「学生諸君、未来の話は好きですか?」と自身で考えたキャッチコピーとともに、未来都市の夜空に同グループが取り組む5事業をイメージしたカシオペア座の五つ星を描き、全体を通してシンブルに仕上げた点が評価された。

デザインは同グループのポスターなどにも使われる。高須賀さんは「アイデアを考えるうえで、企業の方の思いを汲み取りたいと思い、たくさん質問をして、入念にリサーチを行いました。考えたデザインを学科の先生方に見ていただき、デザインやマーケティングの視点で意見をいただきながら完成することができました。私の作品が知らないところまで形となって届いていることが不思議な感覚ですが、見た人の記憶に残ってくれば嬉しいです」と喜びを語った。



デザインしたクリアファイルを手にする高須賀さん(左)



広島市安佐南区社会福祉協議会と地域連携協力に関する協定を締結



協定書を手にする広島市安佐南区社会福祉協議会上田昭人会長(左)と石田優子学長(右)



「平成26年8月豪雨」で設置されたボランティア受付窓口



「平成30年7月豪雨」の復興支援として土砂撤去作業を行う学生たち

8月23日、本学と広島市安佐南区社会福祉協議会が地域活動での連携を進める包括的な協定を締結した。

本学と同区社会福祉協議会は、興動館を立ち上げた2006年をきっかけに、これまで17年間、学生による地域でのさまざまなプロジェクト活動等を通して、日頃から交流や相互協力関係を積み重ねてきた。特に2014年8月に発生した「平成26年8月豪雨」では、同区社会福祉協議会と連携してボランティアセンターの学内受付窓口を早々に設置することで、迅速なボランティア派遣を実現。その後もこれまでの信頼関係を活かし、災害発生時には、率先して支援活動を実施してきた。こうした実際の活動に基づき築いてきた関係は、互いの人間同士の信頼によるところが大きく、将来的に安定した連携継続と強化のため、組織として協定を結ぶこととなった。

協定の内容は、①ボランティア活動の推進②地域活動やまちづくりの推進③大学生の人材育成に関する分野④その他（祇園・興動祭他）である。

協定の締結により本学と地域双方にとって連携しやすい環境が整った。今後も地域連携の継続と強化を目指していく。

「子ども食堂イベント」で子どもたちを笑顔に



子どもたちと一緒にカレーを食べる様子

昨年7月に認定された、興動館入門プロジェクト「子ども達の未来をつくろうプロジェクト」が、初の主催イベント「子ども食堂イベント」を9月16日、興動館にて開催した。

本プロジェクトは「子どもたちが健やかに夢を育むことができる社会の実現」を目指すことを目的に活動している。

広島市安佐南区社会福祉協議会に規格外の野菜などを扱う

フードバンクを紹介してもらい、食材の提供を受け、キャンパス内の施設で調理の練習を重ねてきた。地域の子ども食堂を通じて参加を呼び掛け、親子ら約20名が参加。学生たちの手作りカレーを食べた後、一緒に風船で遊んだり宿題をしたりして交流を深めた。

同プロジェクトを立ち上げた山崎晋平さん（経営学科3年・広島県／安芸府中高校出身）は「私の過去の経験から、子どもたちのためにどんなことでもいいから役に立ちたいと考え、子どもたちの居場所が作れるようなイベントを開催したいと思い、プロジェクトを立ち上げました。6名でスタートしたプロジェクトですが、現在は25名で活動しています。イベントの開催までに、地域の方々、教職員の方々に協力していただきながら準備を進めることができました。まだまだスタートしたばかりで、改善点も多くありましたが、プロジェクトリーダーとして、相手に配慮した話し方やメンバーとの関わり方について考えながら、今後はもっと多くの方々に来ていただける定期的なイベント開催を目指します」と意欲を語った。

学生たちの活動の輪が地域の子どもたちへと広がっていく。



交流を通じて信頼関係を築くプロジェクトメンバー

私の就職活動体験記

大学での経験を糧に、自信を持って就職活動に臨む！

「人の役に立つ仕事がしたい」と思い、会社説明会に積極的に参加をして、自分に合う業界を絞っていききました。内定をいただいた企業は、医療機器メーカーであり、患者の方だけでなく、医療従事者にとって一番の味方でいられる企業だと知り、医療の知識がない私でも社会貢献ができることにやりがいがあるのではないかと思います、志望しました。

大学では、「地域発信プロジェクト」に所属し、地域や企業の方と協力してイベントを作り上げるイベント部署のリーダーという責任ある立場を経験しました。リーダーとして、メンバーの意見をまとめるだけでなく、個々の本当の思いを引き出し、理解することを強く意識して活動をしていました。意見が異なり、うまくいかないときもありましたが、人との関わり方、物事を率先して動かす力と積極性を身につけることができました。

こうして培ってきた力や経験を就職活動でどのように伝えていくのか、ゼミの先生、キャリアセンターの職員の方に何度も面談をしていただきました。心強い味方がいることで精神的にも支えられ、定期的な面談を通して自分のことを客観視できて自信にもつながりました。また、気持ちを素直に打ち明けることで考えが整理でき、大事な選択をすることができました。

卒業後は、向上心を持ち続けて働きたいと思います。4年間、プロジェクト活動だけでなく、スチューデントアシスタントやこまち会、4年次になってから新しいアルバイトに挑戦するなど、現状に満足することなくチャレンジし続けてきました。この気持ちを社会人になっても維持して、自分の仕事に誇りを持ってスキルを高めていきたいです。

身につけた積極性を活かして人の役に立つ仕事をする



内定先
株式会社
ジェイ・エム・エス

— 後輩への Message —

ゼミの先生からいただいた「たくさん悩むことは悪いことではなく、それだけ真剣に向き合っている」という言葉を皆さんにも贈ります。これからたくさんのことを悩むと思いますが、悩んだうえでの決断はその過程も含めて自分を強くしてくれます。困ったときは素直に人に頼ってください。心強い味方が広島経済大学にはたくさんいます。

経済学科4年 入江 南椰さん
(広島県/安古市高校出身)

大学独自の公務員養成講座で未来を切り拓く！

学びのなかで身につけた力で県民を陰から支えていきたい

会社の利益のためだけではなく、国民や地域住民のために働きたいと思ったこと、地元山口県に戻り恩返しをしたいと考え、公務員を志望しました。私にとってゼミ活動と大学の公務員養成講座が公務員を目指すうえで、とても大きな力になりました。ゼミ活動では、道の駅の利用促進について考える活動に取り組みしました。現状分析や課題分析を行うために、店舗実習やアンケート調査を試みました。一から企画を作り上げるこの大変さや企業の方との交渉の難しさなどを学び、チームをまとめるために必要な力もつけることができました。また、地域が抱える課題を考え、解決策を提案したことにより、地元のために何ができるのか考えるきっかけにもなりました。

公務員養成講座では、筆記試験の対策だけではなく、面接、小論文、エントリースートの対策もしていただけたことが心強かったです。特にエントリースートの対策では少人数の講座のため、細やかな指導をしていただきました。公務員にもさまざまな職種がありますが、職種ごとに書くべきこと、アピールすべきことを教えていただけたことも良かったです。面接練習では、自分ではわかっていいることも面接官は初めて聞く内容なので、具体的に伝えることを教えていただき、ポイントを心掛けて本番の面接に臨むことができました。

山口県庁のインターンシップに訪れた際に、立場を超えて互いに意見を交わしていた職場の雰囲気や印象に残っています。卒業後は、私も自分の考えをしっかりと持ち、周りとのコミュニケーションを大切にしなが国と住民をつなぐ重要な役割を担っていききたいと思います。

内定先
山口県庁

— 後輩への Message —

就職活動が始まる時期がどんどん早まり、やりたい仕事はまだ見つからないのに就職活動はしないといけない状況に置かれることもあるかもしれません。だからこそ自分が得意なこと好きなことは何かを自問自答し、ここで働きたいと思える就職先を探してみてください。思うようにいかないことに負けず、最後まで頑張ってください。



経営学科4年 石橋 伶花さん
(山口県/山口高校出身)

スポーツチームを支えることで、誰かの心を動かしたい！

大好きなスポーツを通して一人でも多くの人を笑顔に

小学生の頃から家族の影響で野球に興味を持ち、将来はプロ野球に関わる仕事に就きたいという思いを持ち続け、その夢を叶えることができました。

夢の実現に近づくために、大学ではスポーツチームの経営や施設の運営について学び、プロスポーツチームへのインターンシップに参加したり、「スポーツによる地域活性化プロジェクト」でスポーツイベントを開催したり、さまざまな角度からスポーツに関わる経験を重ね、関心を深めてきました。

「スポーツによる地域活性化プロジェクト」では副リーダーを務めました。10競技11団体で構成されたNPO法人トップス広島と協力して、イベントの企画・運営を行いました。イベントを成功に導くためには多くの方々の協力が必要です。日程や時間、費用などの調整、プロジェクトメンバーの役割分担を考えるなど苦労したことは多くありましたが、当日はイベントに参加してくださった方々の笑顔を見て、「スポーツには人の心を動かす力がある」と改めて実感し、スポーツ業界への就職を強く意識するようになりました。

就職活動では、良い状態でモチベーションを維持することに苦労しました。志望度の高い企業の選考時期が遅く、焦る気持ちはありましたが、家では就職活動のことを考え過ぎず、趣味のスポーツ観戦をしたり、ゼミの先生に相談したりしながら前向きな気持ちを維持したことで、乗り越えることができました。

就職後は、どんなことにも真摯に取り組み、スポーツを通じて笑顔を増やせるよう行動していきます。そして、球団職員の一員として自覚を持ち、今までお世話になった広島県の街に恩返しをしていきたいです。



内定先
株式会社
広島東洋カープ

— 後輩への Message —

就職活動は早く決まったから正解、遅くまで決まっていなかったから不正解ということではありません。自分が納得できる「ここで働きたい」と思える企業を見つけたことが大切です。迷うこともあるかもしれませんが、周りの人を頼ったり、今までの自分の経験を信じ努力したりすることで、後悔のない結果が出せると思います。

スポーツ経営学科4年 佐藤 遥香さん
(広島県/三原高校出身)

未経験者からでもエンジニアの道が開けた！

努力し続けることを強みにエンジニアとして活躍する

普通高校出身でパソコン経験がほとんどありませんでしたが、大学から始めたプログラミングに打ち込んできました。培ってきた力を活かせる業界・職種に就きたいと考え、IT業界でのエンジニア職を目指しました。

大学入学後、ゼミや授業のなかで、先生方から「Python」や「自動化」という言葉を耳にする機会が多く、自然に興味を持つようになりました。1年次の終わりに、授業でマクロの記録について学び、自分で作ってみたいと思いました。完成したものを見たときに面白さと奥深さを知り、もっと知りたいと新しい技術を学び、できることが増えることで楽しくなっていました。2年次のときに「Python」でアルゴリズムを組んだり、スクレイピングでデータ収集をしたり、競技プログラミングコンテストや全国の大学生でソフトウェアの共同開発などを楽しむイベント「ハッカソン」に参加して技術を磨いていきました。周りのレベルの高さと自分の力の足りないところを痛感したことで、さらに学ぶ意欲が湧いてきました。

就職活動では、エンジニアを目指す学生のための就職活動サイト「[geac]」でエントリした9社の人事担当者の方やエンジニアと面談をしていただきました。面談を通して、自分のアピールポイントが培ってきた技術力だけではなく、「技術を得るまでの過程や勉強してきた努力」だと気がつく機会となりました。自己分析をしっかりとできたことで、落ち着いて自信を持って面接に臨むことができました。

卒業までに、フレームワークの「Ruby on Rails」や「Django」などについて知識を幅広く増やし、言語や製品について勉強しながら仕事を始めるエンジニアになりたいです。

内定先
株式会社
オプロ

— 後輩への Message —

私は、4つの就職活動サイトを利用していました。それぞれに特徴があるので、自分に合った就職活動サイトを選ぶことが大切だと思います。そして一番大切なことは、自分のアピールポイントを正しく理解することです。自分で見つけることは難しいので、先生や友人などたくさんの人から意見をもらうことをお勧めします。



ビジネス情報学科4年 岡谷 明弥さん
(広島県/五日市高校出身)

番組制作を通して、鍛えられたコミュニケーション力！

テレビを見る人が喜ぶ番組を自分の手で作りたい

私は小さい頃からテレビを見るのが好きで、見る側ではなく、番組制作の仕事をしたと考ええるようになり、テレビ番組の制作会社を志望しました。メディアビジネス学科では、映像制作やメディア・リテラシーなどさまざまな観点からメディアについて学び、その実践としてゼミでは実際に映像制作を行いました。どんな内容にするのか、どんな映像で伝えるのか、話し合って決定するなかで、撮影や編集に関する知識や技術以外にも、コミュニケーションの大切さを学ぶことができました。取材依頼の際には、相手への話し方を特に気をつけました。取材相手と良い関係ができると良い作品作りにもつながり、やりがいを実感することもできました。

しかし、採用試験のグループディスカッションでは思うようにいかず苦労しました。発言が得意な学生の空気に圧倒され、焦ってしまい自分が置いていかれるような感覚になりました。何回か経験を重ね、ようやく周りを見て、自分の意見を言えるようになり、培ってきたコミュニケーション力が発揮できるようになりました。上手くいかず、落ち込んだときは、ゼミの先生やキャリアセンターの職員の方に相談をして、的確なアドバイスをもらえたことでポジティブな考え方に変わっていききました。こうしたサポートがあったからこそ就職活動を乗り越えることができたと思います。内定が決まったときもキャリアセンターの職員の方が自分のことのように喜んでくれたことがとても嬉しかったです。

卒業後も素直さ謙虚さを忘れず、社会人としての自覚を持ち、何事にも好奇心旺盛にチャレンジしていきたいです。



内定先
株式会社
ゴシック

— 後輩への Message —

就職活動では、選考に続けて落ちることがありますが、すぐに気持ちを切り替えてポジティブな気持ちで就職活動に取り組んでください。また、自分だけ内定が決まらなくても、焦らずに休むときは休んで、溜め込んでいることがあれば家族や友人、キャリアセンターの職員の方に相談して、気持ちをリフレッシュして前向きに取り組んでください！

メディアビジネス学科4年 山下 花梨さん
(広島県/広島市立広島商業高校出身)

学生の皆さんへ

2024年度

学生募集要項

学部及び大学院の入試要項を配付しています。
お申込みは本学オフィシャルサイト・電話・メールなどで。
〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号
(学部・大学院)入試広報センター ☎ 082-871-1313 / ✉ ent-sc@hue.ac.jp
(留学生)国際教育交流センター ☎ 082-871-1002 / ✉ int-sc@hue.ac.jp

■大学院 博士課程前期課程

【一般選抜（Ⅱ期）】

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程【研究者養成コース・経済学専修コース】 10名(外国人留学生を含む)
出願期間	2024年1月4日(木)～1月18日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月21日(水)・22日(木)
合格発表	2024年3月1日(金)午前10時

【社会人特別選抜（Ⅱ期）】

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程【経済学専修コース】 3名(外国人留学生を含む)
出願期間	2024年1月4日(木)～1月18日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月22日(木)
合格発表	2024年3月1日(金)午前10時

■大学院 博士課程後期課程

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程【研究者養成コース】 3名(外国人留学生を含む)
出願期間	2024年1月4日(木)～1月18日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月21日(水)
合格発表	2024年3月1日(金)午前10時

■学部 学校推薦型選抜（資格スカラシップ2期／3期）

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年1月4日(木)～1月19日(金)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月6日(火)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
出願期間	2024年2月14日(水)～2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

■学部 一般選抜（1期 A方式・B方式・国公立受験生支援入試／2期）

募集人員	A方式＝経済学部(経済学科50名)／経営学部(経営学科50名・スポーツ経営学科12名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科12名・メディアビジネス学科10名) B方式＝経済学部(経済学科55名)／経営学部(経営学科50名・スポーツ経営学科13名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科13名・メディアビジネス学科10名)
出願期間	2024年1月4日(木)～1月19日(金)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月6日(火)・7日(水)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科10名)
出願期間	2024年1月4日(木)～1月19日(金)【締切日消印有効】
試験日	2024年2月6日(火)・7日(水)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科20名)／経営学部(経営学科20名・スポーツ経営学科5名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名)
出願期間	2024年2月14日(水)～2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

※試験日自由選択制 2月6日・7日の試験日をどちらか、又は2日とも選択することができます。
両日とも同一学科を受験した場合は、高い方の合計得点で選考します。【1期A方式・B方式・国公立受験生支援入試のみ】
※複数学科併願制 1回の受験で5学科まで出願することができます。【国公立受験生支援以外】
※A・B方式同時出願制 両方式に同時出願することができます(同じ試験日に両方式で出願する場合、B方式は出願数に関わらず、1日につき5,000円となります)

■学部 共通テスト利用選抜（1期／2期）

募集人員	経済学部(経済学科40名)／経営学部(経営学科40名・スポーツ経営学科10名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科10名・メディアビジネス学科10名)
出願期間	2024年1月4日(木)～1月26日(金)【締切日消印有効】
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科10名)／経営学部(経営学科10名・スポーツ経営学科5名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名)
出願期間	2024年2月14日(水)～2月22日(木)【締切日消印有効】
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で5学科まで出願することができます。

■学部 社会人入試試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年2月14日(水)～2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

■学部 編入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年2月14日(水)～2月22日(木)【締切日消印有効】
試験日	2024年3月4日(月)
合格発表	2024年3月11日(月)午後3時

※事前審査で編入学年が決定している場合のみ出願することができます。

■学部 外国人留学生公募制推薦入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 6名
出願期間	2024年1月4日(木)～1月17日(水)【必着】
試験日	2024年2月2日(金)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することができます。



学長表彰者



学部長表彰者

■学部 外国人留学生入学試験（Ⅰ期／Ⅱ期）

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	Ⅰ期＝2024年1月4日(木)～1月17日(水)【必着】 Ⅱ期＝2024年2月5日(月)～2月22日(木)【必着】
試験日	Ⅰ期＝2024年2月2日(金) Ⅱ期＝2024年3月1日(金)
合格発表	Ⅰ期＝2024年2月16日(金)午後3時 Ⅱ期＝2024年3月11日(月)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することができます。

■学部 外国人留学生のための書類選考による入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2024年1月4日(木)～1月17日(水)【必着】
選考日	2024年2月2日(金)
合格発表	2024年2月16日(金)午後3時

2024年度
総合型選抜・学校推薦型選抜入学試験結果報告

●総合型選抜

入学試験	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
総合型選抜	132	130	117	1.1

●学校推薦型選抜

入学試験	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
学校推薦型選抜	582	579	539	1.1

2023年度
前期資格・能力等表彰者

学長表彰者
TOEIC(700点以上) 岩本綾乃(スポーツ経営学科4年)
TOEIC(600点以上) 今村翔一(経済学科4年)
宅地建物取引士 谷田秀斗(経営学科3年)
日商簿記検定【2級】花屋歌織(経営学科4年)、濱田陸斗(経営学科3年)、谷田秀斗(経営学科3年)
ファイナンシャル・プランニング技能検定【2級】 谷田秀斗(経営学科3年)、木村颯太(経営学科3年)
基本情報技術者試験 岡谷明弥(ビジネス情報学科4年)
ITパスポート試験 藤友亮汰(経済学科4年)、村野颯汰(スポーツ経営学科4年)、岡谷明弥(ビジネス情報学科4年)、鰐石ネス情報学科3年、秋山隼人(ビジネス情報学科3年)、高田壮真(ビジネス情報学科3年)
ス情報学科3年、新田一希(経営学科2年)
TOEIC(500点以上) 藤井翔永(メディアビジネス学科2年)
文章読解・作成能力検定【2級】 兄玉陽一朗(メディアビジネス学科4年)、関岡舞夏(経営学科3年)、折本奏(経済学科2年)

保護者様向けメールマガジン配信中
(通称:HUE(ヒュー)メル)

本学では、広島経済大学の最新情報を月初めにメールマガジンで配信しています。ぜひ、ご登録のうえご覧いただき、広島経済大学及び学生たちのことを知る一助にいただければと思います。保護者の皆さまの多数のご登録をお待ちしております。登録方法はオフィシャルサイトから“保護者の方”をクリックしてください。

随想

「バスケットとバレー。五輪出場効果の行方」

経営学部スポーツ経営学科 小笠 喜徳 教授

酷使に耐えている我が家のテレビは、昨年の夏から秋にかけてもフル稼働だった。7月以降、注目のスポーツイベントが連続した。水泳世界選手権以降、甲子園、陸上世界選手権、バスケットボールW杯(ワールドカップ)、杭州アジア大会、バレー

でプレーする渡邊雄太たちを軸に何度も大逆転勝ちを演じ、アジア最上位でパリへの切符を手にした。自力で五輪出場権を得るのは1976年のモントリオール大会以来、半世紀ぶりの快挙はBリーグ創設によるプロ化が大きく後押ししたのは間違いない。日本代表の躍進は早くもリーグに還元されている。

担当している「スポーツビジネス演習」では、履修生がスポーツ関係企業や団体で研修をさせて

も記録された。バレー男子は1972年のミュンヘン五輪で金メダル獲得後は下降線を描いた。自力での五輪出場は2008年の北京大会が最後。それが外国人コーチの招聘と徹底した「つなぎ」の戦術で復活した。主力の石川祐希や高橋藍、西田有志らいずれも190センチ前後で世界では短身だが、守りから複雑な攻撃へとつなげる戦術がはまり、予選2位で五輪出場権を得た。

結果は上々なのだが問題はこれから。国内リーグのVリーグ開幕直後に福山市での一戦を視察したが、観客の入りは5割ほど。五輪予選で毎試合1万人を超えた熱気はリーグに継続されていない。

バスケットは各クラブが自力で集客やスポンサー獲得を担うプロ集団。一方のパレーは多くが実業団系チームであり、儲けの意識は大きくない。

スポーツビジネスの観点からすればその差は歴然で、バスケットは今季までのシーズン限り、バレーは限定的な効果にとどまると予測する。

かつてバレーをかじった身としては、こんな予想は外れてほしいと感じながら、今夜もテレビのリモコンを握りしめているのである。

(スポーツジャーナリズム論、スポーツビジネス演習Ⅰ・Ⅱ、スポーツメディア論ほか)